



RDA Japan News

Riding for the Disabled Association Japan

Happy People Make Happy Horses



東京都知事認定 特定非営利活動法人 RDA Japan 会報 ~ 障がいのある人のための乗馬 ~ 2023年1月1日 Vol.118

2023年を迎えて 一理事長挨拶



希望と喜びに満ちあふれる令和五年、新年 明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては清々しい新年の門出を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、昨年も全国のユニットと会員の皆様の真摯なサポートと誠実な活動のおかげで、充実した活動を展開することができました。会を代表しまして心よりお礼申し上げます。

昨年2022年は2月24日にロシア連邦がウクライナの軍事侵攻を開始し、未だ収束の見通しがつかぬまま現在も戦争は続いております。ウクライナでは多くの民間人が犠牲になり、甚大なライフラインの被害も受け、今でも多くの方が厳しい冬の寒気の中で逼迫した生活を送っています。ウクライナの馬の厩舎の多くもロケット弾と火災により破壊され、馬を救うために馬を放馬する人、危険にさらされながらも安全な場所に移動する人等々、想像に耐えがたい大変な思いをされたそうです。そんな中、HETIの連盟メンバーであるウクライナヒポセラピスト協会が馬を安全に維持するための支援、避難馬を世話する人の支援に立ち上がり、HETIを通し支援の要請があり、RDA Japanとして少しでもお力になればと寄付金を募り送金をさせて頂きました。ご寄付を頂いた皆様、本当にありがとうございました。そしてこの戦争が一日も早い終戦を迎えることを願います。

2022年度は、5名の新理事が誕生し向こう2年の任期で新しい理事会が発足しました。

この二年の間に、私たち RDA Japan の活動の最前線で頑張ってくださっている全国のユニットの皆様と連携を密にしながら、活動をしっかりサポートできる体制を盤石にしていきたいと考えています。

その為の一歩としまして、これまでの担当制（人材育成・ユニット・広報・医事・馬事・国際）をすべて2名体制とし、昨年秋から月1度の理事ミーティングを開始し、理事全員で情報共有と協議を図っております。また、昨年末には念願のホームページのリニューアルも完成しましたので、ホームページとSNSを活用し、RDA Japanとしての事業活動そして全国のユニットの現場活動の可視化に力を入れて参ります。

RDA Japan も2020年度から二年にわたり JRA 支援事業としてインストラクター養成講習会を開催させて頂きましたが、ここ数年に行なわれた東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、引退競走馬の利活用等の様々な支援事業の開催を通して、ホースセラピーという言葉も其処此処で聞かれ認知されるようになりました。これからはこの領域の活動をする上での正しい知識と技術の理解と習得の充実に焦点を当てる調機調養の段階に入ったと思っております。今年度は国内外の団体とも協力をしながら、馬介在活動 (Equine Assisted Service) に携わる皆様にとって、そしてこの活動を志す若き次世代の方々にとって、有意義なセミナー等の開催と情報発信に努めて行く所存です。

私たちがこの活動の中で関わる方には、先天的に心身に障害がある方、ストレスを抱える方、後天的事由により心身に障害を抱え社会復帰を目指す方、ご高齢の方等様々な立場の方がいらっしゃいます。そしてそのまわりには、日常を支えている多くの支援者の方がいらっしゃいます。私たちがそのお一人お一人の人生に関わる時間には限りがあるかもしれませんが、活動のフィールドで分かち合う時間が、すべての人にとって最高に充実し、輝ける時間であって欲しいと願ってやみません。

これからも私たち RDA Japan は、日本の障がい者乗馬・ホースセラピーの先駆者として、仲良く団結し、社会に寄与できる活動に尽力して参りますので、本年も皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

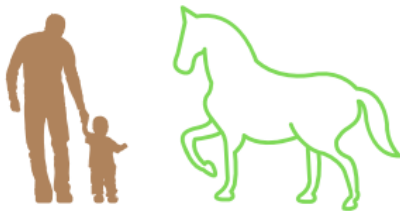
特定非営利活動法人 RDA Japan
理事長 中田 希衣





〇どなたでもご参加いただけるセミナーです！

主催
認定NPO法人
RDA Japan



新たに学ぶ

更に学ぶ

Seminar

2/25 Sat 13:00~14:30



ホースセラピーにおける障がい理解

~障がい理解に必要な医学的基礎知識、および馬との活動による効果との関係に関する理解を深める~

- 講師：石井 孝弘（帝京科学大学 教授／RDA Japan 副理事長）
日時：2023年2月25日（土）13：00～14：30（受付 12：40～）
会場：オフィス東京 5階（C5会議室）
東京都中央区京橋 1丁目6番8号 コルマ京橋ビル
JR東京駅 八重洲口より徒歩5分 / 東京メトロ銀座線 京橋駅6番出口より徒歩3分
参加費：RDA Japan 会員 1,000円 / 一般参加 2,000円 / 一般 ZOOM 参加 1,500円
※振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 00100-4-32279 口座名義 RDAJapan
対象者：RDA Japan 会員、医療従事者、ホースセラピーに興味のある方
※RDA Japan インストラクター更新「認定セミナー」
定員：会場 20名 / ZOOM 受講 30名 ※ZOOMで参加の方は事前にアプリをご準備ください。
申込方法：申し込み用紙にご記入の上、RDAJapan 事務局へ
FAX (03-3430-8603) または mail (rda@rdajapan.or.jp)にてお申込みください。
申込締切：2023年2月18日（土）
入金締切：2023年2月20日（月）※入金後のキャンセルは返金できませんのでご注意ください。
その他：※感染対策として、会場にお越しの方はマスクの着用と、消毒のご協力をお願いいたします。
また発熱のある方のご来場はご遠慮いただきますようお願いいたします。
※ZOOM参加される方へは、2023年2月23日（木）にメールにて、IDとパスワードをお送りいたします。
申込者以外のご視聴はご遠慮ください。



〇楽しく安全な活動のために ～ヘルメットなどの装着について～

昨今、日本国内でもホースセラピーの活動に取り組まれている場所が年々増えてきています。その形態も多様化しており、乗馬クラブだけではなく障害福祉に携わる事業所や病院が母体となっている事業所、個人的な活動など馬を取り入れる経緯も経験も様々です。

どんな場所であってもこの活動で一番大切なことは、「安全に楽しく」であることに変わりはないと思います。

安全で楽しい活動の為に、危険を予知し回避することや危険なことが起こった際のリスクに備えることも必要になります。このリスクを回避する一つの手段としてヘルメットやボディープロテクターがあります。日本馬術連盟では、平成 25 年 4 月 1 日から、馬場馬術競技会においても、騎乗時は常に保護用ヘッドギア（いわゆるヘルメット）の着用を義務付けるようになりました。

全国乗馬倶楽部振興協会においても、平成 22 年～25 年で同協会が把握しているだけで、乗馬クラブ内（外乗を含む）の死亡事故が 4 件あり、ヘルメットやプロテクターを着用していれば死亡にまで至らなかったかも知れない事例も含まれているため安全確保のため着用義務化が進んでおります。

しかし、様々な特性の方を対象とした活動を行う中で、感覚過敏がありヘルメットの着用を拒否する方や、重度の身体障害があり頸部の負担を考慮するとヘルメットの着用は難しい方などに遭遇します。このような場合、リスクをなくす努力が必要になると思います。

騎乗の際の落馬をなくすためには、馬自身はもちろん、リーダーやサイドウォーカーとのチーム連携がより重要になります。インストラクターは、馬の状態や活動環境の状態、天候、乗り手の特性や体調、リーダーやサイドウォーカーの技量など、様々な点に留意が必要になります。

総合的に判断した結果、リスクをなくすことは難しいと判断した際は、乗り手の方に十分説明を行い、騎乗をしないという選択が必要になるかもしれません。そのような場合は馬に乗る以外の馬と関わる活動を提供する方法もあります。

全国のホースセラピーに関わる全ての人馬が楽しく笑顔のひと時を過ごせることを願っております。

RDA Japan 人材育成担当
岩下 香織





○第8回スペシャルオリンピックスナショナルゲーム広島が開催される

SO 日本スポーツプログラム委員会馬術部会 太田恵美子

11月3日から6日まで広島県内で晴天の内ナショナルゲーム（以下、NG）が開催されました。ご存じのようにスペシャルオリンピックス（以下、SO）は知的障害者のスポーツを通じた社会参加を進める国際的な組織です。

オリンピックと同様に4年に一度夏季大会と冬季大会が行われ、広島大会は来年ベルリンで行われる世界大会の予選でもありました。

今回は12種目のスポーツで47都道府県900人のアスリートが600人のコーチ4000人のボランティアとそれまで培ってきたトレーニングの発表をしました。

馬術プログラムが始まったのは2006年からです。ルール上8地区で開催されているプログラムがNGでの正式種目となることから2014年エキシビジョンとしての福岡NG、その後名古屋NGそして今回の広島大会とまだ2回の本開催です。

パラとの違いは競技は貸与馬で行われるというルールがあり開催地区は安全で乗りやすい馬を提供しなければなりませんし、クラス分けは「ディビジョニング」と言い、障害の程度ではなくその時の習得技術で決定されます。今回はコロナ過の開催ということもあり身体接触の少ない自立騎乗のできる常歩、速歩、駈歩の3ディビジョンのアスリートで行われました。

競技種目は馬場馬術、障害飛越と2種目を行いました。一般の競技と異なり障害飛越でもタイムは計測せず障害へのアプローチ、姿勢などが加点され、障害物の落下、また落下のない地上バーを通過する常歩班は馬が脚をバーにあてた場合は減点されます。



客観的な審査方法ではなく、馬術競技の中のインターシートと似ていて総合的に馬と人の調和を審査するので審判の方には細かく審査をしていただきました。

SOは知的障害のある人が対象ですので、もちろん重複障害を持っている方も参加できます。今回も車いすを使用しているアスリートが立派に常歩のディビジョンで演技を披露してくれました。



4年に一度の大会ですが以前顔見知りになった馬仲間との同じ宿舎で過ごす交流はアスリート、コーチにとって楽しいものです。今回はJB北広島乗馬クラブの施設と乗用馬をお借りし、クラブ会員の方20名以上が競技運営のボランティアをしてくださいました。お借りした馬は本当にアスリートの可能性を阻害せず、また安全な馬でした。寸前に健康上の理由などで棄権が増え6地区、11名とアスリートが少なくなり残念でした。

このNGで各ディビジョン上位者がベルリンでの世界大会の切符を手に入れます。

2023年6月に行われるベルリン大会では190か国7000人のアスリートが参加します。日本からは9競技、全体で47選手のクオリファイが取れ馬術からは2名が参加します。馬術選手は全体で141名と聞いていますが、馬術強国ドイツがどのような馬を準備してアスリートを迎えてくれるのか今から楽しみです。

興味のある方は <http://www.son.or.jp> をご覧ください。仲間絶賛募集中*です。

*アスリート・ボランティアの参加、ユニットのスポーツプログラム開催（コーチクリニック受講）などのご相談は、各都道府県で設置されているSO窓口または、馬術部会の太田様 (efproject.jp@gmail.com)へご連絡ください。



このコーナーは、全国のRDA活動を通して乗馬を楽しむ乗り手さんや、ご両親はじめ、皆さんからのホットな交流の広場です♡ 今回は、JRAD 主催の全国大会へ参加されたお話を伺いました

全国障がい者馬術大会への参加

つばさ乗馬苑 土谷麻紀

日本障がい者乗馬協会(JRAD)主催の第30回全国障がい者乗馬大会が、11/12(土)、13(日)に兵庫県の三木ホースパークで開催されました。

埼玉県をつばさ乗馬苑から、富西薫平さん(20歳)が出場しました。

薫平さんは知的障害があり、普段は作業所に勤務しています。身体的にも脚力が弱く自転車のペダルをこぐ事が出来ません。しかし、乗馬歴は長く幼い頃から乗馬を始めて、小学3年生では、ポニーに乗り駈歩で障害飛越の経験もありました。

つばさ乗馬苑で乗る様になってからは、基礎練習の見直しとともに、馬場馬術の経路練習をしてきました。今年4月埼玉県で行われた一般の方の馬術競技会にA1課目、A2課目、で出場しましたが、A2課目は馬と折り合いがつかず失権。この時の屈辱を晴らすべく、今回、三木ホースパークでの大会に挑みました。

大会当日、コロナ対策で開会式も閉会式も表彰式もありませんでした。馬場は屋外でしたが、雨が降り出し屋内馬場へ変更。薫平さん憧れの屋内馬場!

馬は貸与馬で、割り当てられたのは滋賀県栗東市にある放課後デイサービスの馬場からやって来た、芦毛のポニー「一番星」くん。普段はセラピー専門で馬場馬術競技の経路を踏むのは始めて。屋内馬場も始めて。そして背中にはウエスタン鞍が装鞍されていました。



競技前、馬場慣しの為に一番星くんの馬場の方が馴致して下さり、薫平さんが騎乗したのは本番10分前でした。いつもは大きな馬にブリティッシュの鞍で乗っていますが、小さなポニーにウエスタン鞍という組み

合わせをどう乗りこなすか、が勝負の決めてとなりました。ほんの少しの駈歩練習で一番星くんの安定した歩様に自信が付き、本番に挑む勇気をもらいました。

いざ本番、A1課目は入場の時の中央線のズレや多少のポイントのズレ等もありましたが、無事に経路を回って帰ってくる事が出来ました。

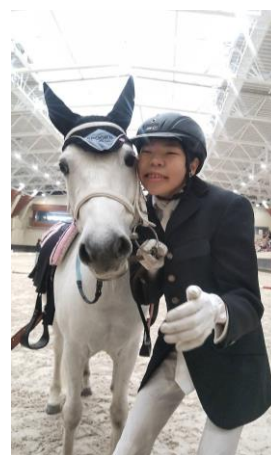
A2課目はA1の反省点を生かし、ミスの無い演技が出来る事を望みました。やはり多少のポイントのズレ等はありませんでしたが、無事に回ってくる事が出来ました。

完璧を求めれば注意点は沢山ありますが、まずは埼玉県大会の失権の屈辱を晴らすことが出来たので、良かったと思います。薫平さん頑張りました!

—薫平さんの感想—

競技前は少し緊張しました。練習で乗った時、サラブレッドより歩様が細かく速く感じました。競技中駈歩が少し怖かったです。もう少し上手に乗ればいいなあ~と思いました。

今後は新しい経路(A2課目B)を覚えるのと、スペシャルオリックスで世界を目指して頑張りたいです!



富西薫平。



ユニット活動紹介！ 《岡山乗馬倶楽部 一準ユニットー》

※このページは一以前紹介されたユニットからの推薦リレー形式で紹介をしています。

今回は「まきば」（7月掲載）から、岡山県の「岡山乗馬倶楽部」にバトンが渡されましたー

みなさんこんにちは！岡山乗馬倶楽部のインストラクターをしています後藤です！

岡山県のと真ん中にある岡山県吉備中央町の乗馬倶楽部を少しですがご紹介します！

岡山乗馬倶楽部には、現在 62 頭の馬たちが暮らしており 80 名の会員の皆様が乗馬を楽しんでおられます。「この国に新しい馬文化を創造する」を企業理念に掲げ、従来の会員レッスンだけでなく、様々な取り組みを行っています。

放課後等デイサービスの事業として PAKARA KIDS を運営もしています。毎日 10 名程度の子どもたちが PAKARA KIDS にやってきてホースセラピーを実施しています。馬のぬくもりに触れながら揺れや動きを楽しんだり、時には勇気を出してチャレンジしたりしています。日々子どもたちの成長を見守っています。岡山乗馬倶楽部で開催される競技会や、中国地区障がい者馬術大会にも参加し、子どもたちが自信をもって日頃の馬とのかかわりを発表しました。



もう一つは、PAKARA DO です！こちらは就労継続支援 B 型事業所です。毎日倶楽部に暮らす馬たちの馬房清掃を PAKARADO の利用者さんがしてくれています。暑い日も寒い日も、Do のみなさんのおかげで馬たちは健康に暮らすことができているんですねー。馬用おやつ「ホーストリーツ」の制作・販売も行っています。利用者さんたちへ日頃の感謝込めて乗馬会も開催しています。



最後に、ハンデを持たれた方の親御さんが最初に立ち上げられたうーまらいぜーしょん杜の風のセラピー活動も岡山乗馬倶楽部で行われています。毎月土曜日・日曜日が活動日です。活動日は乗る

だけでなく、倶楽部周辺を引き馬で散歩したり馬の手入れをしたりしながら参加される方のペースに合わせてプログラムを組んでいます。まだまだこれから活動を広げていきたいと思っています。



岡山乗馬倶楽部は来年 15 周年を迎えます。馬を通じて様々な人がつながり、自分の持っている力を思う存分発揮できるようなそんな場所になっていけるように、今後も皆様の力をお借りしながら精進してまいります。

ぜひお近くに来られる際は、お気軽にご連絡くださいね！私がお案内します♪

以上、岡山乗馬倶楽部で一番、お米が好きな”しゃもじ（後藤）”がお伝えしました！

岡山乗馬倶楽部 後藤



○募集期間が延長されました！ まだご推薦可能です！！

RDA Japan 第16回ボランティア表彰と馬匹表彰のお知らせ

日頃、障がい者乗馬活動でお世話になっているボランティアさんと馬に感謝状を贈呈する事業を行っております。障がい者乗馬活動の主役は無償のボランティアや馬であるという原点に帰り、感謝の気持ちを運営団体に代わって伝える事業です。RDAJユニット以外の団体からもご推薦いただけます。

《応募要項》

【対象となるボランティアの条件】

- 障がい者乗馬のボランティアとして
- 継続的に1年以上活動している方。
- 活動をしている団体に多大な貢献をしている無償ボランティア。
- 障がい者乗馬活動をしている団体から推薦されたボランティア。
- *障がい者乗馬活動をしている団体の役員（運営者）と有償ボランティア、自薦のボランティアは対象となりません。

【応募方法】RDAJapanホームページより、
「推薦用紙」(応募用紙)をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、メールにて事務局までご送付ください。

【対象となる馬の条件】

- 過去1年以上、継続的に障がい者乗馬のために活躍した馬。
- 障がい者乗馬活動をしている団体から推薦された馬。
- 品種、性別は問いません。
- 現役を引退した馬でも、過去1年以上活躍した実績があれば対象となります。

【応募締切】2023年2月28日必着。

【結果発表】2023年4月1日に発行する会報および RDA Japanホームページにて発表。

●皆さんの写真作品をお待ちしています！！ 期限延長～☆まだ応募可能です☆

RDA Japan 第16回写真コンテスト2022 開催のお知らせ

テーマは「馬上の笑顔」 活動風景の一コマを是非ご応募ください！

過去に撮影してまだ出品されてない作品も、是非！見せてください。

受賞作品はRDA Japan ホームページ (HP)、Facebook (FB) 上で紹介、2023年度のRDAJapan HP ならびにFBなどで発表させていただきますので、乗り手さん等の肖像権についてはご本人に許諾いただいているものをご投稿ください。

【応募方法】RDAJapanホームページより、
「応募用紙」をダウンロードしていただき、
必要事項をご記入の上「作品票」を裏面貼付の上、事務局までご送付ください。
応募点数に限りはありません。
メール提出の場合は、お問い合わせください。

【応募締切】2023年2月28日必着。

【審査発表】2023年4月1日に発行する会報およびRDA Japanホームページにて発表。

【賞】RDA Japan賞1名
審査員特別賞1名、入賞若干名

※賞状・記念品がございます。

※昨年度の受賞作品はRDA Japanホームページ (<http://rdajapan.or.jp/>) でご覧になれます。

【審査員長】高草操 (たかくさみさお) 氏
フリーカメラマンとして馬・馬に関わる人・風土をテーマに日本全国・海外でご活躍です。
尚、現在「日本列島、知恵プロジェクト」というサイトで、日本の在来馬や日本の馬世界を取材した記事と写真を連載中です。

第1回遠野市馬事文化賞受賞。

「人と共に生きる 日本の馬」で、2020年度JRA賞馬事文化賞受賞。





ORDAJ会員のみなさま。2022年度の会費の納入はお済ですか？！

RDA Japan の活動は、会員の皆さまの年会費と暖かいご支援で成り立っています。2022 年度会費が未納の方はよろしく願いいたします。

○インストラクター資格取得者、ユニット連絡担当者の方へ

資格更新やユニット継続申請の手続きはお済みですか？

インストラクター資格更新年度に当たる方や、ユニット継続申請年度にあたる団体は期限前手続きをお願い致します。

● Facebook ページで活動の様子をご覧いただけます

Facebook をされてない方でも見ていただけます。

全国各地のユニットが持つ HP（ホームページ）や Facebook ページの情報を掲載して、いち早く皆様の元へお届けしたいとおもいます。RDAJ とそのユニットが身近に感じられるページを目指します。

みなさま、RDAJ の FB ページに是非「イネ」のクリックをお願いします！

FB ページの URL : <http://www.facebook.com/rdajapan>

● 活動予定や活動報告、ご意見などを、ぜひお寄せください

RDA Japan News は、皆さまからの情報で成り立っています。

役立つ楽しい会報を目指していますので、乗馬会や講習会などのイベント情報、活動中のトピックスなどなんでもドシドシお寄せください。

！ Facebook 用の投稿記事などもお待ちしております！

！ 乗り手さんとの交流広場「ハートストリングス」への投稿もお待ちしております！

原稿の送付先は RDA Japan 事務局、E-mail は、rda@rdajapan.com までお願いします。

次号（4月発行）の原稿締切は、3月5日です。

編集後記



昨年 2022 年は、ロシアによるウクライナ侵攻勃発、新型コロナオミクロン株の流行など、波乱の幕開けとなってしまいました。予定していたインストラクター講習会も延期や中止を余儀なくされ、ホースセラピー活動も中止になったユニットが多かった事と思います。

そんな中でも、明るいニュースもありました。JRAD の全国障がい者馬術大会、スペシャルオリンピックス日本全国大会が無事に開催され、選手たちの活躍が見られました。

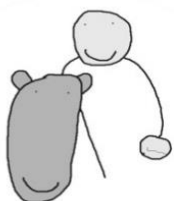
また、皆様のご好意により、ウクライナ緊急支援募金が集まり、無事にウクライナヒポセラピスト協会へ送金されました。

以下協会代表のアンナさんからのメッセージになります。

“こんにちは！ 本当にありがとうございました。17万円たしかに受理致しました。すぐに馬術競技場の返済の一部に充当致しました。”

2023 年こそは、平和な日々が戻って来るように祈らずにはられません。

皆様おひとりおひとりのご健康とご多幸を願い、新年のご挨拶とさせていただきます。



発行：特定非営利活動法人 RDA Japan（東京都 認定 NPO）

■ ホームページ <http://www.rdajapan.or.jp/>

■ 郵便振替 □ 座番号：00100.4.32279 □ 座名義：RDAJapan

返送先：RDA Japan 事務局 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-39-15

■ 電話 080-6519-7818 ■ FAX 03-3430-8603

■ E-mail rda@rdajapan.or.jp